

## いわて花巻空港の令和5年度収支（試算）について

### 1 公表の目的等について

空港運営に関する情報の開示など透明性を確保し、**空港運営の効率化**を図るため、平成21年に国土交通省が、**国管理空港**の収支状況を公表した。

これを受けて本県では、平成22年（平成20年度分）から、いわて花巻空港の収支を試算し公表してきたところ。

・「キャッシュフローベースの収支」

県一般会計歳入歳出決算から、いわて花巻空港に係る現金の出納を抽出し収支を把握したもの

・「貸借対照表」

いわて花巻空港の資産（土地、建物及び工作物等）や負債を一覧で示したもの

### 2 キャッシュフローベースの収支について（資料1）

#### (1) 空港整備及び維持運営など全ての経費の収支

▲14億5,200万円（R4：▲13億4,700万円、1億500万円の減少）

主な要因：歳出（空港等維持管理経費等・空港整備事業費）の増

#### (2) (1)のうち、維持運営の経費のみに係る収支

▲6億9,600万円（R4：▲6億3,100万円、6,500万円の減少）

主な要因：歳出（空港等維持管理経費等）の増

### 3 貸借対照表について（資料1）

#### (1) 資産 421億5,000万円（R4：422億8,200万円、1億3,200万円の減少）

うち有形固定資産 421億4,900万円（R4：422億8,100万円、1億3,200万円の減少）

主な要因：土地再評価による減

#### (2) 負債 79億5,700万円（R4：81億6,900万円、2億1,200万円の減少）

主な要因：地方債（県債残高）の減

#### (3) 純資産 341億9,300万円（R4：341億1,200万円、8,100万円増）

### その他 経済効果の試算について（資料2）

令和5年度のいわて花巻空港を利用した観光客の旅行支出額を経済効果として試算すると、その額は60億6,600万円（R4試算結果：49億1,500万円、11億5,100万円増）となる。

## 令和5年度 いわて花巻空港の収支について

## 1 キャッシュフローベースの収支

## (1) 空港整備及び維持運営など全ての経費

(金額：百万円)

項目	R4	R5	差引増減
<b>歳入 A</b>	955	1,247	292
着陸料等収入	145	141	▲ 4
土地建物等貸付料収入	47	49	2
国庫補助金等収入	237	442	205
航空機燃料譲与税	34	34	0
借入金	307	366	59
地方債償還時交付税収入	115	127	12
諸収入	0	0	0
分担金・負担金・寄付金	0	0	0
繰越金	71	88	17
<b>歳出 B</b>	2,215	2,611	396
空港等維持運営費等	784	1,052	268
土地建物借料	3	3	0
県有資産所在市町村交付金	127	127	0
空港整備事業費	475	694	219
環境対策費	0	0	0
借入金償還	826	734	▲ 92
災害復旧関連費	0	0	0
<b>歳入歳出差額 C=A-B</b>	<b>▲ 1,259</b>	<b>▲ 1,364</b>	<b>▲ 105</b>
<b>翌年度への繰越財源 D</b>	<b>88</b>	<b>88</b>	<b>0</b>
<b>実質収支額 C-D</b>	<b>▲ 1,347</b>	<b>▲ 1,452</b>	<b>▲ 105</b>

～歳入の主な変化～

- ・国庫補助金等収入の増  
(空港整備事業の進捗による国庫補助金の増)

## (2) (1)のうち維持運営の経費のみを抽出

(金額：百万円)

項目	R4	R5	差引増減
<b>歳入 A</b>	283	486	203
着陸料等収入	145	141	▲ 4
土地建物等貸付料収入	47	49	2
国庫補助金等収入	3	114	111
航空機燃料譲与税	34	34	0
借入金	17	148	131
諸収入	0	0	0
分担金・負担金・寄付金	0	0	0
繰越金	37	0	▲ 37
<b>歳出 B</b>	914	1,182	268
空港等維持運営費等	784	1,052	268
土地建物借料	3	3	0
県有資産所在市町村交付金	127	127	0
<b>歳入歳出差額 C=A-B</b>	<b>▲ 631</b>	<b>▲ 696</b>	<b>▲ 65</b>
<b>翌年度への繰越財源 D</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>実質収支額 C-D</b>	<b>▲ 631</b>	<b>▲ 696</b>	<b>▲ 65</b>

～歳出の主な変化～

- ・空港等維持運営費等の増 (化学消防自動車更新等による増)
- ・空港整備事業費の増 (空港整備事業の進捗による増)

## 2 貸借対照表 (令和6年3月31日現在)

(金額：百万円)

借方		貸方	
〔資産の部〕		〔負債の部〕	
<b>1 公共資産</b>	<b>42,150</b>	<b>1 地方債</b>	<b>7,759</b>
<b>(1) 有形固定資産</b>		<b>2 未払金</b>	<b>0</b>
土地	39,218	<b>3 退職手当引当金</b>	<b>197</b>
立木	83	<b>負債合計</b>	<b>7,957</b>
建物	628		
工作物	1,925		
備品	295		
建設仮勘定	0		
<b>有形固定資産合計</b>	<b>42,149</b>		
<b>(2) 無形固定資産</b>	<b>1</b>		
		〔純資産の部〕	
<b>2 その他</b>	<b>0</b>	<b>純資産合計</b>	<b>34,193</b>
(1) 未収金	0		
(2) 回収不能見込額	0	<b>負債・純資産合計</b>	<b>42,150</b>
<b>資産合計</b>	<b>42,150</b>		

※ 有形固定資産の減価償却累計額は、10,431百万円です。

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、増減が一致しない部分がある。

## 令和5年度におけるいわて花巻空港の経済効果（旅行支出額）の試算について

## 1 試算の考え方

## (1) 国際線

## ①外国人旅行支出額

外国人空港利用者数 × 1人当たり旅行支出額

## ②日本人旅行支出額

外国へ旅行する日本人空港利用者数 × 1人当たり旅行前後の支出額

## (2) 国内線

## ①観光客旅行支出額

国内線空港利用者数 × 観光目的の利用者割合 × 1人当たり旅行支出額

## 2 試算結果

経済効果（旅行支出額）＝**60億6,600万円**（R4：49億1,500万円）  
 （国際線6億9,900万円＋国内線53億6,700万円）

## (1) 国際線（6億9,900万円）（R4：0万円）

## ①インバウンド（外国人観光客）

	旅行支出額(千円)		
	a=b*c	b	c
台北線	682,564	15,008	45,480
上海線	-	-	-
計	682,564		

※1「1人当たり旅行支出額」は観光庁「訪日外国人の消費動向 2023年 年次報告書」  
データから推計

## ②アウトバウンド（日本人観光客）

	旅行支出額(千円)		
	d=e*f	e	f
台北線	16,351	693	23,594
上海線	-	-	-
計	16,351		

※2「1人当たり旅行前後支出額」は観光庁「旅行・観光消費動向調査 2023年（確報）」データから算出

(2) 国内線 (53 億 6,700 万円) (R 4 : 49 億 1,500 万円)

	旅行支出額(千円)		1人当たり旅行 支出額(円) ※4 i
	g=h*i	観光客数(人) ※3 h	
札幌線	1,041,536	23,653	44,034
名古屋線	1,677,299	38,091	
大阪線	1,792,272	40,702	
福岡線	462,929	10,513	
神戸線	392,871	8,922	
計	5,366,908		

※3 観光目的の利用者(推計値)

※4 出典:観光庁「旅行・観光消費動向調査2023年年間値(確報)」

3 経済効果(旅行支出額)の推移 (単位:千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
国際線	0	0	0	698,915
国内線	988,345	1,836,771	4,915,055	5,366,908
計	988,345	1,836,771	4,915,055	6,065,823